

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援事業所 Craft		
○保護者評価実施期間	令和8年2月26日		～ 令和8年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和8年2月26日		～ 令和8年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月26日		～ 令和8年3月13日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3施設	(回答数) 2施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先・保護者との丁寧な情報共有と関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> 訪問時に先生方とその場で振り返りを行う 書面で見立てを共有する 当日中に保護者へ報告 などを通して、関係者間での共通理解を大切にしている。	<ul style="list-style-type: none"> 共有方法の整理 記録の活用 連携の質の向上
2	現場に合わせた実践的な支援提案	<ul style="list-style-type: none"> 観察や見立てをもとに 取り入れやすい関わり方や環境調整を提案しており、実際の場面で活かせる支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援の再現性の整理 事例の蓄積 職員間共有
3	訪問支援の特性を活かした柔軟な対応	<ul style="list-style-type: none"> 訪問先の方針を尊重 保護者の状況に応じた対応 個別性の高い支援ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援の仕組み化 対応方法の整理

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	体制の仕組み化・明文化をさらに進める必要がある	<ul style="list-style-type: none"> 少人数のため対応はできている しかし個人対応に依存している部分もある 	<ul style="list-style-type: none"> 記録様式の整理 共有方法の統一 振り返りの仕組み化
2	家族支援・情報提供の機会が限定的	<ul style="list-style-type: none"> 個別相談は行えている 交流や体系的な支援は未実施 	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供の充実 家庭への助言の整理 必要に応じた支援方法の検討
3	情報発信・外部への周知が十分ではない	<ul style="list-style-type: none"> SNS等での発信は行っている 内容や頻度にばらつきがある 	<ul style="list-style-type: none"> 発信内容の整理 分かりやすい情報提供 継続的な発信

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名		保育所等訪問支援事業 Craft		公表日		令和8年 4月 1日			
		利用児童数		4名		回収数		100%	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。				4		お子さんの状況や必要性に応じて、視覚支援や教材、必要な資料・グッズ等を準備しています。今後も支援内容に応じて教材の充実に努めていきます。	
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3			1		事業所内には個室を設けており、プライバシーに配慮した面談ができる環境となっています。面談は事業所のほか、訪問先や保護者の希望・都合に合わせて実施しています。	
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4					ご評価いただきありがとうございます。引き続き分かりやすい説明を心がけていきます。	
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4					今後ご相談しながら柔軟に対応していきます。	
適切な 支援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	4					体制についてご安心いただいているようで良かったです。今後も安全面に配慮していきます。	
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					観察や見立てをもとに、現場で取り入れやすい関わり方や環境調整を提案し、実際の場面に活かせる支援を行っています。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					計画作成についてご評価いただきありがとうございます。今後も丁寧に検討していきます。	
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	4					訪問時に担任の先生から現場の状況や困りごとを確認し、その内容を支援や計画に反映しながら進めていきます。	
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3				1	支援内容について、より分かりやすくお伝えできるよう説明の工夫を行っています。計画内容についても、具体的な支援方法がイメージしやすいよう改善に努めていきます。	
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					計画に沿った支援ができていたとの評価をいただきありがとうございます。今後も意識して取り組みます。	
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	4					事前の方針を確認し、訪問時には先生方と相談しながら支援を行い、現場に無理のない形で関われるようにしていきます。	
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					ご評価いただきありがとうございます。今後も丁寧に伝えていきます。	
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					ご評価いただきありがとうございます。引き続き分かりやすさを大切にしていきます。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2				2	現在は個別相談を中心に対応していますが、今後は必要に応じて情報提供や家庭での関わり方についての助言をより分かりやすくお伝えできるよう工夫していきます。	
	15	必要ときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	4					日々のやりとりや訪問後の共有を通して状況をお伝えし、保護者とお子さんの様子について共通理解が深まるようにしていきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4					必要に応じて面談や助言を行いながら、ご家庭での関わり方についても分かりやすくお伝えしていきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					関わりについてご評価いただきありがとうございます。安心して関われるよう意識していきます。	
18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4					今後も相談しやすい関係づくりを大切にしながら、気軽にご相談いただけるようにしていきます。		
19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					情報伝達についてご評価いただきありがとうございます。今後も分かりやすさを意識しながらお伝えしていきます。		

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	4				今後も訪問時のやりとりや情報共有を通して、必要な助言や支援につなげていきます。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	4				今後も、先生方とその場での簡単な振り返りを行うとともに、書面での見立ての共有等を通して、支援内容について共通理解が深まるよう丁寧に対応していきます。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	4				今後も当日中にアプリを通して支援内容やお子さんの様子を共有し、保護者と状況の共通理解が図れるようにしていきます。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3			1	SNSを活用し、支援の内容や取り組みについて分かりやすく伝えられるよう工夫していきます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4				今後も個人情報の取扱いには十分配慮しながら対応していきます。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4				緊急時の対応についてご評価いただきありがとうございます。今後も訪問先と連携しながら適切に対応できるようにしていきます。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4				安全面についてご評価いただきありがとうございます。引き続き安心して利用いただけるようにしていきます。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3			1	訪問支援では、児童の気持ちやその日の状況に配慮しながら関わることを大切にしています。今後も無理のない形で支援を行い、安心して関われるよう工夫していきます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	4				多くの項目でご評価いただきありがとうございます。今後もより良い支援につなげていきます。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 令和8年 4月 1日

保育所等訪問支援事業 Craft

利用児童数 4名 回収数 2施設

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2				肯定的な評価をいただきありがとうございます。今後も分かりやすく具体的な助言ができるよう努めてまいります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2				ご評価いただきありがとうございます。今後も専門性の向上に努め、よりよい支援が提供できるよう取り組んでまいります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2				ありがとうございます。今後も相談しやすい関係づくりを大切にし、適切な対応ができるよう努めてまいります。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2				ご評価いただきありがとうございます。今後も現場の状況に合わせた支援を行い、課題の軽減につながるよう努めてまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	2				ありがとうございます。今後も連携を大切にしながら、より質の高い支援が提供できるよう努めてまいります。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
・いつも留意点の確認等を丁寧に行っていたのでありがたいです。今後ともよろしく願いたします。 ・いつも視覚支援のシートを作ってくださいたり、声掛け支援等助かっています。ありがとうございます。					温かいお言葉をいただきありがとうございます。訪問時に現場の状況を共有していただけることで、実際の場面に合わせた支援を行うことができいております。今後も視覚支援や関わり方の工夫について一緒に検討しながら、訪問先の皆様と連携し、支援の質の向上に努めてまいります。引き続きどうぞよろしく願いたします。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援事業 Craft			公表日	令和8年 4月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		利用するお子さんの特性や課題に合わせて、その都度教材を準備している。	個々に応じた教材準備は行えているが、担当者に依存する部分もあるため、事業所として教材の整理や共有方法を整え、継続して活用できるようにしていく。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		現在の利用人数であれば、安全面や支援の質を保ちながら対応できていると感じている。	現在の利用人数では対応できているが、兼務体制であるため負担が偏らないよう調整が必要である。今後の利用状況に応じて体制の見直しを行う。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		即日の記録を取ることで訪問支援員個人で振り返りを行うとともに、訪問中にも担任の先生方と短時間で情報共有の時間を設けている。一つの支援の中でもDo(実行)とCheck(評価)を繰り返しながら支援を行っている。	訪問ごとに振り返りと記録が行われており、支援の中で評価と修正を繰り返しながら実施できている。今後も職員間で共有しながらPDCAサイクルを継続し、業務改善につなげていく。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		初めての保護者評価を実施し、いただいた意見を今後の改善につなげていく予定である。	初めての評価であり、改善点の整理が十分とは言えないため、今回の結果をもとに具体的な改善内容を決め、次年度につなげていく。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		少人数体制のため日常的に情報共有ができていない。LINEなども活用している。	日常的に共有はできているが、正式な場としての意見交換の機会は少ないため、今後は定期的に振り返りの機会を設けていく。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	定期的な外部評価は未実施だが、関係機関とのやりとりの中で客観的な視点を意識している。	外部評価は未実施であるため、今後は関係機関や研修等を通して客観的な視点を取り入れ、支援の質の向上につなげていく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		必要な研修には参加しており、学んだ内容を支援に活かすようにしている。	研修には参加しているが、内容の共有が十分ではないため、学んだことを事業所内で活かせるよう共有の機会を設けていく。
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		行動観察や保護者・担任からの聞き取りをもとに、多面的に状況を把握するようにしている。	行動観察や、各方面への聞き取りをもとにアセスメントは行えているため、今後も継続して状況把握を行い、支援計画に適切に反映していく。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		現在は兼務体制だが、子どもの最善の利益を意識して計画を検討している。	兼務体制の中で計画作成を行っているため、今後も必要に応じて関係機関と意見交換を行いながら、児童の最善の利益を踏まえた検討を行っていく。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		訪問時に担任の先生と情報共有を行い、その内容を計画に反映している。	訪問先との情報共有を行いながら計画作成はできているため、今後も連携を継続し、現場の状況に即した計画作成を行っていく。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		現在は兼務体制だが、計画内容は確認し、支援に沿って実施している。	計画内容を確認しながら支援は行えているため、今後も共有を徹底し、計画に沿った支援を継続していく。
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		チェックシートと行動観察を通して、適応行動を継続的に確認している。	行動観察やチェックシートを活用した確認は行えているため、今後も継続して状況把握を行い、支援の見直しにつなげていく。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを踏まえ、具体的な支援内容を設定している。	ガイドラインを踏まえた支援内容は設定できているため、今後も内容を確認しながら適切な支援計画を作成していく。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		現在は兼務体制だが、計画を意識しながら支援を行っている。	計画を意識した支援は実施できているため、今後も内容を確認しながら計画に沿った支援を継続していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	現在は兼務体制だが、訪問前に目的や観察視点を整理している。	支援前に目的や視点の整理は行えているため、今後も確認を行いながら連携して支援を実施していく。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	現在は兼務体制だが、訪問後は必ず記録を作成し、整理と振り返りを行っている。	記録と振り返りは実施できているため、今後も継続して行い、支援の改善につなげていく。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○	訪問先の方針や支援方法を尊重するようにしている。	訪問先の方針については事前にホームページ等で確認し、訪問前には必ず顔合わせを行った上で支援を実施している。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○	毎回記録を残し、次回支援に活かしている。	記録は継続して行っているため、今後も内容を振り返りに活かしながら、支援の改善につなげていく。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的に意向を確認し、必要に応じて見直している。	意向確認や見直しは行っているため、今後も定期的に確認しながら適切に計画の見直しを行っていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	事前に保護者面談や担当相談支援専門員から情報収集を行い、児童の現状や支援上の課題を整理した上で会議に参加している。	事前に情報整理を行った上で会議に参加し、関係機関と状況や課題を共有しながら支援につなげていく。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	必要に応じて関係機関と連携している。	必要に応じて関係機関と情報共有を行いながら、それぞれの役割を踏まえた連携を通して支援につなげていく。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	移行事例はないが、今後就園・就学時には円滑な移行となるよう情報共有を行う体制が必要であると考えている。	今後に備えて情報共有や連携方法を整理し、円滑な移行ができるよう準備していく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○	必要に応じ、リハビリ担当者や主治医の意見を聞くようにしており、その内容を支援に反映させている。理学療法士としての専門性を高めるため、PT向けの研修にも参加している。	研修参加や助言の活用は行っているため、今後も専門性の向上を図りながら支援の質の向上につなげていく。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○	子ども部会・区部会に参加している。	今後も継続して地域との連携を深めていく。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	訪問後は、基本的に当日中に保護者へ状況を共有している。アプリを使用し、日々の変化も定期的に把握している。	日常的な共有は行っているが、訪問支援では保護者と直接顔を合わせる機会が少ないため、細かなやりとりや相談がしやすい関係づくりを心がけ、共通理解を深めていく。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	家庭での対応について助言を行っているが、研修会等の案内は現時点で行っていない。	家庭への助言は行っているが、研修等の機会は少ないため、今後は必要に応じて情報提供や支援の充実を検討していく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約や重要事項は丁寧に説明している。	契約時の説明は適切に行っているため、今後も分かりやすい説明を心がけ、理解を得ながら進めていく。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○	契約後には必ず訪問先施設と顔合わせの機会を設け、その際に事業の趣旨や訪問支援の目的について説明している。	訪問前に顔合わせや説明は行っているため、今後も事前説明を徹底し、訪問先の理解を得ながら支援を実施していく。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	保護者や関係者の意向に加え、本人の思いや困り感にも目を向け、こどもの最善の利益を考えながら意向を確認するようにしている。	今後も本人・保護者双方の思いを踏まえながら支援内容を検討していく。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○	計画作成後には内容を説明し、保護者の同意を得ている。あわせて、アプリ上でもいつでも確認できるようにしている。	今後も内容を分かりやすく伝え、理解を得ながら支援を進めていく。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○	相談にはできるだけ丁寧に応じている。	今後も相談しやすい環境づくりを意識し、必要な助言が行えるようにしていく。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	現在は個別対応が中心であり、保護者同士の交流機会は設けられていない。	現在は個別対応が中心であり交流の機会は設けていない。訪問のみの事業形態では実施が難しい面もあるが、今後の利用状況に応じて必要な支援の在り方を検討していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	相談や申入れには迅速に対応している。	相談への対応はできているため、今後も周知を行いながら適切に対応できる体制を維持していく。

	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		必要に応じてSNS利用し、情報発信を行っている。	SNSやホームページを活用し、支援の内容や取り組みについて分かりやすく伝えられるよう工夫していく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		留意している。	個人情報の取扱いについては意識して対応できているため、今後も適切な管理を継続していく。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		写真など使用し、分かりやすい伝え方を心がけている。	写真等を活用した伝達は行えているため、今後も相手に合わせた分かりやすい伝え方を意識していく。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問先からの相談にも応じている。	相談対応はできているため、今後も訪問時のやりとりを通して、必要な助言や支援につなげていく。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		カンファレンスは訪問先の都合に合わせて実施している。また、別の時間に電話等で共有の機会を設けている。	訪問先の状況に応じて実施できているため、今後も共有の機会を確保しながら連携していく。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		訪問支援後は、当日中にアプリを使用して支援内容を報告している。	当日中の共有は行えているため、今後も継続して状況の共有を行っている。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		他児の保護者がいる場合には、利用児に関する具体的な内容は控えるなど、個人情報の取扱いに留意している。	状況に応じた配慮はできているため、今後も場面に応じて適切に対応していく。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		専門用語はできるだけかみ砕いて説明するようにしている。また、必要に応じて関係機関への確認事項を取りまとめるなど、相談に丁寧に対応している。	専門的な助言は行えているため、今後も分かりやすい説明を心がけながら、信頼関係を大切にして対応していく。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは整備されている。	マニュアルは整備されているため、今後も内容を確認しながら適切に運用していく。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づき支援を行っている。	安全計画に基づいた支援は行えているため、今後も安全面に配慮して実施していく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		発生時には速やかに共有し、再発防止について検討する必要があると認識している。	現時点で事例はないが、発生時には共有と対応ができるよう意識していく。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を受け、理解を深めている。	研修を通して理解はできているため、今後も適切な対応ができるよう意識していく。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		原則行わないことを理解しており、必要時は記録や説明が必要と認識している。	原則行わないことを前提とし、必要時には適切な手順で対応できるよう理解を継続していく。